

# 目 次

ページ

- ◆ 総合総括研究報告 血漿分画製剤の原料となる血漿の採漿方法・・・・・・・・・・ 5  
及び品質確保のための研究

河原 和夫

- ◆ 総合分担研究報告(1) わが国の原料血漿の供給予測に関する研究・・・・・・・・ 33  
－ 献血指向性からの考察 －

河原 和夫、菅河 真紀子

- ◆ 総合分担研究報告(2) わが国の原料血漿の供給予測に関する研究・・・・・・・・ 46  
－ 地理的・人口学的要因からの考察 －

河原 和夫、菅河 真紀子

- ◆ 総合分担研究報告(3) わが国の原料血漿の採取コストに関する一考察・・・・ 67

河原 和夫、菅河 真紀子

- ◆ 総合分担研究報告(4) Voluntary Non-Remunerated Blood Donation・・・・ 78  
(VNRBD)を基本とする国の献血基準

津野 寛和

- ◆ 総合分担研究報告(5) 海外の献血基準に関する研究・・・・・・・・・・・・ 86

津野 寛和

ページ

- ◆ 総合分担研究報告(6) 国内における免疫グロブリン製剤の需要増加・・・94  
要因及び、日米における原料血漿の確保状況  
と分画事業者の対応について

木村 洋一

- ◆ 総合分担研究報告(7) 海外の原料血漿採取方法の安全性に関する研究・・・109

野島 清子

- ◆ 総合分担研究報告(8) 九州大学病院における免疫グロブリン製剤・・・118  
の使用状況に関する研究

平安山 知子

- ◆ 総合分担研究報告(9) カナダの血液事業改革・・・126

菅河真紀子、 河原 和夫

- ◆ 総合分担研究報告(10) オーストラリアの血漿事業プロジェクト・・・135

菅河真紀子、 河原 和夫

- ◆ 総合分担研究報告(11) わが国における免疫グロブリン製剤の需要量・・・145  
の変化について

菅河真紀子、 河原 和夫